

10/3  
522

福島第1

# 汚染水放出しないで

## 政府に署名22万人分提出

### 市民団体

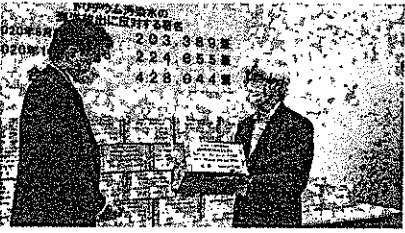
福島第1原発事故で発生したトリチウム(3重水素)を含む放射能汚染水の海洋や大気への放出処分に反対する「原発のない福島を! 県民大集会」は2日、菅義偉首相と橋山弘志経済産業相あての署名22万4655人分と要請書を手渡し、経産省と政府交渉しました。

政府の小委員会は2月、汚染水の海洋や大

気への放出を「現実的な選択肢」だとする報告書を提出。菅首相は汚染水の処分方法を「できるだけ早く決めたい」などとしています。

署名提出は8月27日に続いて2回目。県内外から集められた署名は合計で42万8044人分に上りました。

経産省の担当者は



約22万4千人分の署名を経産省(左)に手渡す角田政志(「原発のない福島を! 県民大集会」実行委員長)2日、衆院第2議員会館

「意見公募(パブリックコメント)も4000件近く届いており、早く受け止めたい」とコメントしました。

県民大集会の角田政志実行委員長は、海洋・大気放出が処分方法の前提になっていることと「漁業や農業の生産者をはじめ、みなが納得できる別の方法を検討すべきだ」と強く求めました。

呼びかけ人の藤野美都子(福島県立医科大学教授)はトリチウム汚染

水を環境に放出する政府の考えに「長期的な影響に責任が持てるのか。事故を起こした国や東電の態度として納得がいかない」と迫りました。

野党統一の金子恵美衆院議員(福島1区)が同席し、「パブリックコメントを公表し、国民的議論にするべきだ」と述べました。